

高齢社会演習

2023年度 プログラムNo. 2304

「リビングラボ」

■担当教員：秋山弘子（高齢社会総合研究機構客員教授）、吉田涼子（高齢社会総合研究機構学術専門職員）

■概要：

リビングラボとは、生活の現場（住んでいる自宅、地域など）において、企画段階から住民を巻き込み、企業、自治体、大学、各種団体等が互いの強みを持ちより、生活者起点で暮らしを豊かにする製品やサービス、社会の仕組み等の新たな価値を共創する活動です。東京大学高齢社会総合研究機構は、鎌倉市、今泉台町内会、NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台、三井住友FG等と「鎌倉リビングラボ」を運営し、高齢社会の課題を解決するものやサービスを創り出す活動を行ってきました。

本実習では、大学・自治体・企業・組織等の約400団体900名が登録し、リビングラボに関する研究発表や意見交換、交流を行う「リビングラボ研究交流会」への参加機会を提供します。

その他、リビングラボに関するイベント、テストベッドにおけるワークショップやインタビュー等への参加機会も提供します。

■日程：

リビングラボ研究交流会は年2-3回開催を予定。日時が決まり次第メールにて告知。実施はオンラインまたは本郷キャンパス。

リビングラボイベントの開催日時は未定。日時が決まり次第メールにて告知。原則現地（鎌倉市内）での参加。

■留意事項：

- ・現地開催の場合、交通費は別途支給する。
- ・リビングラボ研究交流会への参加は上限なし。
- ・リビングラボイベントやテストベッドにおける活動は参加上限を設定する場合がある。
- ・告知・募集はhomeroom@iog.u-toko.ac.jpを経由して行う。問い合わせ先：吉田 (yoshida@iog.u-toko.ac.jp)